

放送番組審議会議事録

燕三条エフエム放送株式会社

1、開催年月日 令和元年 6月 13日(木)

2、開催場所 燕市大曲 燕三条エフエム放送 会議室

3、委員の出席

・委員総数 …… 8

・出席委員数 …… 5

・出席委員の氏名…上村 浩昭委員長、田邊とも子委員、遠藤 愛子委員、
瀬戸明委員、市島清貴委員

・欠席委員の氏名…神田晃委員、坂内紀美子委員、本間幸美子委員

・放送事業者側出席者…阿部代表取締役社長、阿部局長、本間取締役、高井唯行

・放送事業者側欠席者…なし

4、委員長挨拶 上村委員長

JR 東日本をご利用いただきありがとうございます。令和初という事で、気持ち新たにしていきたいと思います。

4月から5月にかけての10連休において、上越新幹線が電源がらみで全線ストップしたことにつきましてお詫び申し上げます。その後は事故なく順調に運行されていましたが、本日、白新線で作業車が架線にひっかかり、先ほどようやく不通が解除されたという事で、また利用者にご迷惑をおかけしました。

5月5日、燕三条駅に新幹線のキャラロボットを設置し、おおいに PR できました。また、新潟Destinyキャンペーンで、燕三条駅と弥彦村と連携して催事を行います。弥彦菊まつりの時期に合わせて検討しております。取材も含めて、ラヂオは～とさんにも協力を仰ぎたいと存じます。

私事ですが、7月1日付で異動の内示が出ました。新駅長は観光畑を歩んできた方が就任します。私以上に活発な意見が出せると思います。よろしくおねがいします。

それでは本日もよろしくお願いいたします。

5、事業者側経過報告 阿部代表取締役社長

今日もお忙しい中、弊社の番組審議会にお集まりいただきありがとうございます。

3月半ば、パーソナリティーのひとりである高野一美が負傷し、3ヶ月番組を離れざるを得ない状況になり、リスナーやスポンサーにご心配をおかけすることになりました。本人は、順調に回復してきており、7月1日で正式に番組復帰する予定です。

7月1日から「サイマルラヂオ」を開始します。難聴地域対策で始める事業です。パソコンやスマホでラヂオは～とが聞けるというもので、聞きづらかった箇所では改善されます。新潟日報などで告知いたします。それと、番組の中継を「ネット回線」でしておりますが、「ラヂオマイク」を使った中継も始めたいと思います。これで安定した放送ができると思います。

そのほか、弥彦村と「防災協定」「放送委託協定」を進め、災害時に役立てられるものになりたいと思います。加茂市についても、市長が代わったという事で、あらためて防災関連の話を進めていきたいと思います。

本日もよろしくお願ひします。

6、議題内容

(1)「SAN-JOYFULL768」(第2・4火曜12時30分～12時45分)について

6月11日(火)放送分

(2)次回の番組審議委員会の日程について

～番組試聴～

(1)「SAN-JOYFULL768」

上村 委員長:取材した場所の観客の声が乗っていて、臨場感があっていいかなと思ったのですが、ずーとつづくとだんだん邪魔になって聞こえてきました。また、ゲストの三条凧協会会長のしゃべりが長く、インタビュアーの質問が短く感じました。もっといろんな人に質問した方がよかったですと思います。

瀬戸 委員:上村委員長に同じく、観客の声が邪魔に感じました。凧合戦のルールなどをもう少し詳しくお話してほしかったです。また、見所も紹介してほしかったです。

遠藤 委員:わたし実際に2日(日)見に行きました。午後2時くらいから見たんですが、委員の方が近くにいろいろ説明していただき楽しめました。この番組でも、凧合戦の楽しみ方などの説明がもう少しあるといいなと思いました。

田邊 委員:楽しいイベントを軽く説明するのが目的の番組なのか、詳しくイベント内容を紹介するのが目的なのか、わかりづらかったです。番組名が「JOYFULL」なのだから楽しさを伝えられたらと思いました。

凧あげ会場が「三条防災ステーション」ということで、眺望がいいんですよ。景観の説明などがあるとよりいい番組になったかなと思います。また、ちびっ子のアトラクションがあったんですが、保育園の名前を言ったりして紹介があってもいいかなと思いました。外で取材されている割には音声も明瞭で聞きやすかったです。

市島 委員:「SAN-JOYFULL768」の番組説明が冒頭でほしいですね。そのほか、ゲストの須藤会長のプロフィールの紹介や、凧合戦のルール説明を素人目線でもいいので あってもいいかなと。あと、実際に凧に触れて感触をレポートしたり、勝負の決め方などお話ししてもらえると、「映像」が見えてくると思います。あわせて、大人から子供、参加者から観客までいろいろ感想を流してほしいと思います。つまり、「イベントの内容が分からない人も、番組を聞いていてわかる様子を伝えてほしい」「専門的な話に特化している」などの思いが湧いてきます。

会場の見晴らしがいいので、土手に上がって見てみようかと思っています。

田邊 委員:参加している「小町組」は女性だけのチームで20年前からあったと聞いています。ここまで続くのはすごいので、ぜひ取材してみた方がいいと思います。そもそも、凧あげ自体男性の催事で女性なんて触らせもくれなかったんですよ。それを加味しても取材のし甲斐があると思います。

阿部 社長:ゲストの選定もいろんな方が出て、「防災」を語るほうがいいですね。

高井:ゲストの選出や番組内容で、どんな方がいいでしょうか。

市島 委員:スーパーマーケット、ドラッグストアなど広い駐車場がありますが、災害時に勝手に留めていいものか。コンビニなども防災に役立てられる方法を聞いてみるとか。

阿部 社長:一般市民にインタビューしてみるなども検討してみるといいですね。

市島 委員:三条市民は、これからの季節しんばいですよ。

瀬戸 委員:防災の専門家、例えば国土交通省の信濃川河川事務所の方をゲストに呼ぶのもいいんじゃないでしょうか。学校で防災講座をやっています。

本間取締役:警察や消防署、自動車関連企業、保険業…。自動車関連だとディーラーに話をきくといいですよ。三条市の水害の時は、積載車が全国から来ました。
あ、東北電力もいいんじゃないですか。

上村委員長:駅も防災訓練しています。ぜひとも取材お願いします(笑)。

(2) 次回の番組審議委員会の日程について
8月29日(木曜)18時30分予定。

8、その他・意見交換等
特になし。

閉会

9、審議機関の答申又は意見の概要を公表した場合におけるその公表内容方法及び年月日
自社放送 令和元年6月13日(木)
書類のエントランスホールへの備置き 令和元年6月18日(火)
自社HP上に記載 令和年6月20日(水)

10、その他、参考となる事項
特になし